

2019 年度コラボミュージアム作品づくりコンテスト

小学校・中学校部門 アピールシート

2020 年 1 月 22 日

所属名 : 渋谷区立上原小学校

実践学年組: 4 年 1 組

氏名: 瀬下 俊吾

教科	体育
実践期間	2019 年 12 月 3 日 ~ 2019 年 12 月 19 日
実践タイトル (35 文字以内) 跳び箱運動	
実践の目的 台上前転と開脚跳びを、自分たちで課題を見付けて解決しながらできるようにする。	
実践のポイント・工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・コラボノートによって技能分析をクラスみんなで考えやすくした。 ・技能分析のページをいつでも見られるようにして、撮影した動画と比べて自分の課題を見付けやすくした。 ・振り返りカード (学習カード) をコラボノートにまとめることにより、なくすことを防いだり、提出の手間を省けたりできるようにした。 	
実践内容 (簡単に) 第 1 時は、前年度の振り返りとともに、決まった技ではなく、自分ができることを楽しく取り組む時間にした。その上で、今回取り組む技や跳び箱運動がどんな動きなのかを確認した。第 2 時では、お手本の映像を見ながら、コラボノートの 1 つページにみんなで気付いたポイントを書き込んだ。第 3 時以降は、こんな課題の時はこんな解決方法があることを示した上で、自分たちで姿を撮り合ったり見合ったりしながら、課題を見付け解決できるようにした。振り返りを毎回コラボノート上で書いていくことにより、技能分析・学習カードが同じところにあって使いやすくなった。	
(コラボノートを) 使用してよかった点を教えてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・技能分析を共有しやすい。 ・普段発言が苦手な子ども、書き込むことで自分の考えを伝えやすい。 ・振り返りに対して教師がコメントを書きやすい。 ・動画撮影、振り返り、技能分析がタブレット 1 つですべてできる。 	

自由記述欄

実践記録の概要（単元略案）

※コラボノートを活用した場面だけではなく、全体の学習の流れとコラボノートをどの場面でどのように活用したか記載してください。

全6時間

時間数	学習活動	先生の指導・支援 および評価	コラボノートの活用
1	○3年生までにやってきた跳び箱運動をやってみる。 ○これから学習する台上前転・開脚とびについて確認する。	◇安全指導を行う。	
1	○ポイントを分析する。	◇短い文・言葉でまとめさせる	・跳んでいる様子の画像にポイントをみんなで付箋で貼り付ける
4	○台上前転・開脚跳びを	◇課題を解決する方法をあらかじめ示しておき、自分の課題を友達と見付け、解決方法を選択できるようにする。 ☆自分の課題に気付くことができる。 ☆課題解決のための適切な方法を選ぶことができる。 ☆台上前転・開脚とびの行い方を知り、技ができる。	・振り返りカード ・できるポイントの確認